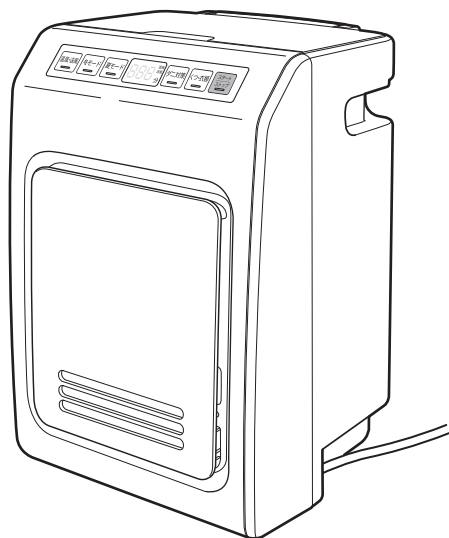


布団乾燥機 KBD-0550

取扱説明書 (保証書付)

ご使用前に必ずお読みください。



目次

安全上のご注意	1~4
使用上のご願い	5~6
設置のしかた	6
知っておいていただきたいこと	7
各部のなまえ	8~9
モードについて	10
ふとんを乾燥する/あたためる	11~12
ふとんのダニ対策をする	13~15
まぐらの乾燥・ダニ対策をする/少量の衣類を乾燥する	16~18
くつを乾燥する	19~20
吊るした衣類の乾燥補助をする	21~22
お手入れのしかた	23~24
保管のしかた	25
収納部への収納のしかた	25
電源コードの巻き付けかた	25
故障かな?と思われるときは	26~27
こんな表示が出たときは	27
仕様	28
消耗部品について	28
アフターサービスについて	29
お客様の個人情報のお取り扱いについて	29
保証・無料修理規定	30
保証書	31
お客様相談窓口	31


このたびは、コイズミ 布団乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになられた後も、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

●特に1~7ページの「安全上のご注意」「使用上のご願い」「知っておいていただきたいこと」を必ずお読みください。

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

 **注意** 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



- 故障・異常時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - ・電源コードを動かすと通電したり、しななかったりする。
 - ・通電中に異常な音や振動がする。
 - ・電源プラグ・電源コード・本体などが異常に熱い。
 - ・こげくさい臭いがする。※このような症状のときはすぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ点検、修理を依頼してください。



- 改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。

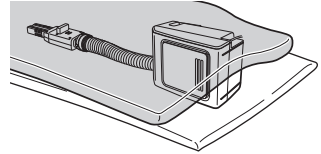


- スプレー缶等を本体の近くに置かない。
爆発・火災の原因となります。
- 吸込口・吹出口・収納部・本体やアタッチメントのすき間などに、ピンや針金などの金属物等、異物を入れない。
感電や異常動作してけがをすることがあります。
- 電源コードを束ねて使用したり、コード巻き付け部に巻き付けたまま使用しない。
発熱による火災の原因となります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因となります。

⚠ 警告

- 下記の衣類は絶対に乾燥しない。
 - ・食用油、機械油、シンナー、ガソリン、ドライクリーニング油が付着した衣類
 - ・水滴が落ちるような洗濯物火災・感電・故障の原因となります。

- 本体をふとんの中に入れて使用しない。
過熱して火災の原因となります。



- 他の熱器具（電気毛布・あんか等）と併用しない。
火災の原因となります。

- 吸込口・吹出口をふさがない。
過熱して火災の原因となります。

- 子どもだけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない。
けが・やけどの原因となります。

- 本体前面は壁などから 15cm 以上離して使用する。
過熱して火災の原因となります。

- 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。
- 延長コードを使用しない。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

- 電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。
ショート・火災の原因となります。







- 吊るした衣類の乾燥補助をする場合、衣類をしっかりと固定する。
衣類が本体の上に落下すると、事故・故障の原因となります。

- 電源コードを傷つける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・重いものを載せる・はさみ込む・布団乾燥機の下を通すなどしない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。





- 電源コードを本体のコード巻き付け部以外に巻き付けない。
電源コードが断線して、ショートなどによる感電・火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告

	●AC100V以外では使用しない。(日本国内専用) 火災・感電の原因となります。 AC200V・船舶の電源・直流電源などAC100V以外では使用しないでください。
	●水につけたり、水をかけたりしない。 ショート・感電の原因となります。
	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電・けがをすることがあります。
	●発熱器具の近くに置かない。 樹脂部分が溶けて引火する原因となります。
	●使用中や使用後しばらくは、アタッチメント・まくら乾燥ふくろ・ホース・吹出口などの高温部に触れたり、ふとんの中に入らない。 やけどの原因となります。
	●乾燥直後のくつを履かない。 やけどの原因となります。

⚠ 注意

	●使用中や、使用後送風が止まるまで、電源プラグを抜かない。 けが・やけど・故障の原因となります。
	●ふとんやまкруの乾燥・あたたため・ダニ対策、くつや少量の衣類の乾燥以外に使用しない。 事故・故障の原因となります。
	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 感電やショートして発火することがあります。
	●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。
	●アタッチメント・吸込口・吹出口のすき間に指を入れない。 けがの原因となります。

⚠ 注意

● 次のような場所で使用しない。

- ・ 温室や浴室、屋外など高温・多湿・水のかかる場所
 - ・ ガスレンジなど炎の近く、引火性ガスのある所
 - ・ 不安定な場所
 - ・ 家具や電気製品などの上
 - ・ カーテンなど風に吸い込まれやすいものの近く
- 感電・ショート・発火の原因となります。

● 本体の上に物を置かない。

故障の原因となります。

● 本体に衣類や布を掛けて使用しない。

事故・故障の原因となります。

● 強い衝撃や振動を与えない。

故障の原因となります。

● フィルターやフィルターカバーを取り外したまま使用しない。

本体内にごみやほこりなどを吸い込み、故障して発火や過熱の原因となります。

● フィルターを水洗いしたり、水で濡らさない。また折り曲げたり、強い力で押さえたりしない。

破損・雑菌繁殖・性能低下の原因となります。

● 皮革製品・漂白剤の付着した衣類・平干しや陰干しの絵表示がある衣類は乾燥しない。

縮みや変色など、衣類が傷む原因となります。

● ふたやホースを持って持ち運びしない。

ふたやホースが外れ、破損やけがの原因となります。

● 革・合成皮革・ビニール製のくつは、乾燥しない。

変形・変質の原因となります。

● 本体のお手入れは必ず運転停止後、風が出ていないことを確認して、電源プラグを抜き、本体やアタッチメントなどが冷めてから行う。

感電ややけどをすることがあります。

● フィルターは定期的に(1か月に1回程度)お手入れをする。

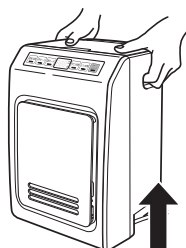
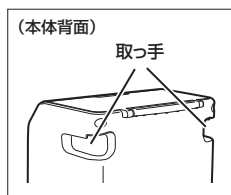
フィルターにごみやほこりなどで目詰まりすると、故障や性能低下の原因となります。

使用上のお願い

- 本体を移動させるときは、高温部が十分に冷めてから、必ず背面の取っ手部分を両手で持ち、持ち上げてください。

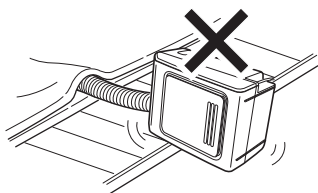
移動の際は、以下のことにご注意ください。

- 本体やホースを引きずったり、強い衝撃を与えない。
 - 電源コードを引っ掛けたり、ぶみつけたりしない。
 - 本体を手や足、床に落下させない。
- けが・故障・破損の原因となります。

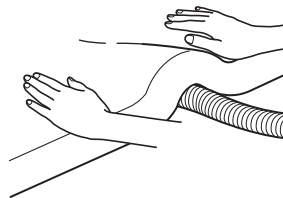


持ち上げる

- 不安定な場所で使用しないでください。本体が倒れ、故障・破損の原因となります。

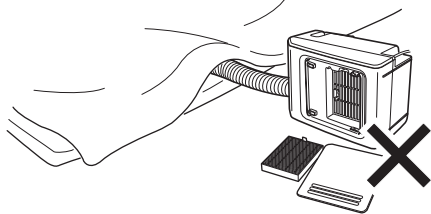


- 風が逃げないように、軽く押さえてふとんの隙間をふさいでください。



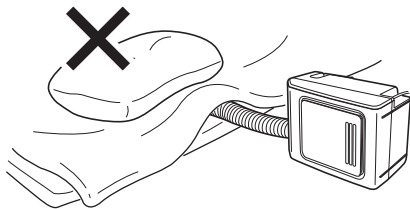
- フィルターやフィルターカバーを取り外したまま使用しないでください。

本体内部にごみやほこりなどを吸い込み、故障して発火・過熱の原因となります。



- ふとんの上に、まくらなど物を置かないでください。

風が行きわたらず、効果が得られないことがあります。



- フィルター・フィルターカバーは、定期的にお手入れをしてください。(P. 23 参照)

フィルターが破損したり、お手入れしても汚れや目詰まりがひどい場合は、新しいフィルター(別売)と交換してください。(P. 28 参照)

- フローリングやタイルなどの上でふとんを乾燥する場合、ふとんと間に湿気がこもって結露の原因になりますので、タオルケットなどをふとんの下に敷いてください。

- ふとんの隅々まで風が行き渡らないときや乾燥が不十分に感じられるときは、アタッチメントの挿入位置を変え、再度運転してください。

- 衣類やくつの湿り気が残っている場合は、繰り返し運転してください。

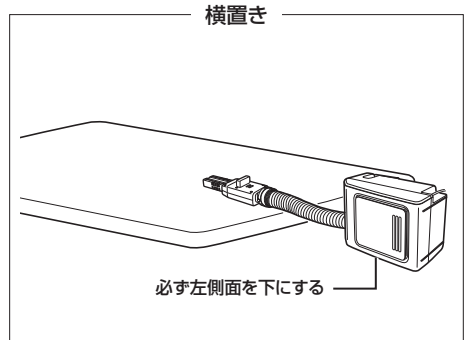
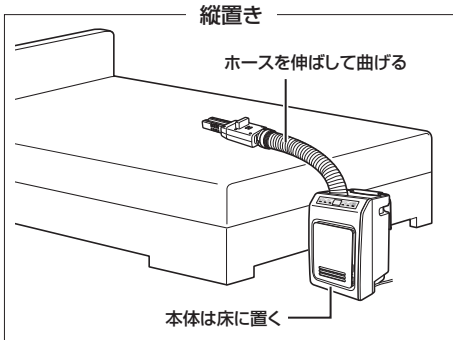
- まくらのダニ対策は、まくら乾燥ふくろを敷ふとんの上に広げ、掛けふとんを掛けて行ってください。まくら乾燥ふくろをふとんの間に入れないと、ダニ対策の効果は減少します。

設置のしかた

- 本体は「縦置き」と「横置き」が出来ます。
ベッドで使うときや吊るした衣類の乾燥補助をするときは「縦置き」、床で使うときやスニーカーを乾燥するときには「横置き」など、使い分けてください。
- 「横置き」の場合は、必ず左側面を下にしてください。

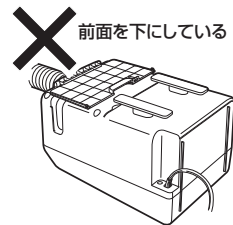
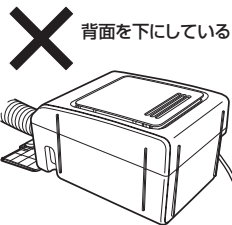
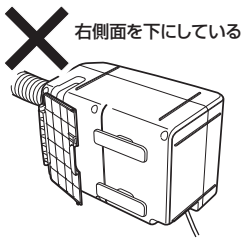
⚠ 警告

- 吸込口・吹出口をふさがない。
- 本体をふとんの中に入れて使用しない。
過熱して火災の原因となります。

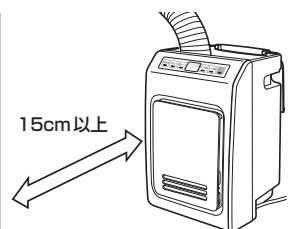


下記のような向きで置くと、安全装置*が働いて運転できません。 *P. 7「安全装置について」参照

- ディスプレイに [E01] が点灯します。



- 本体の前面は、壁などから 15cm 以上離してください。



知っておいていただきたいこと

温風運転停止後の自動送風について

温風運転停止後、ヒーターが冷めるまで自動的に送風運転を行います。

※送風運転が終了するまで、操作ボタンを押しても反応しません。

安全装置について

- 吸込口や吹出口をふさぐなどして本体内の温度が上昇しすぎたり、運転中に本体が転倒した場合、自動的にヒーターが停止します。

ヒーターが冷めるまで自動的に送風運転を行います。

※ディスプレイに [CO1] または [EO1] が点灯し、操作ボタンを押しても反応しません。

- 本体を正しい向きで設置しないと、運転を開始できません。

※ディスプレイに [EO1] が点灯し、操作ボタンを押しても反応しません。

このようなときは、P. 27「こんな表示が出たときは」を参照し、エラーを解除してから運転を再開してください。

素材について

- 寝具・衣類などの素材によっては、温風により傷んだり、機能的寝具・衣類の場合は機能を損なう恐れがあります。

ご使用前に、寝具・衣類の耐熱温度が70℃以上であることをメーカーにご確認ください。

(温風温度：最高約70℃(室内温度30℃の場合))

- 革・合成皮革・ビニール製のくつは、乾燥しないでください。

変形・変質の原因となります。

運転時間について

- 運転時間は室内温度20℃の場合を目安です。

乾燥するものの素材・大きさ・室内温度・湿度により、乾燥やあたたために時間がかかる場合があります。

ふとんは、羊毛・羽毛のシングルサイズ(敷きふとん：100×210cm・掛けふとん：150×210cm)を目安にしています。

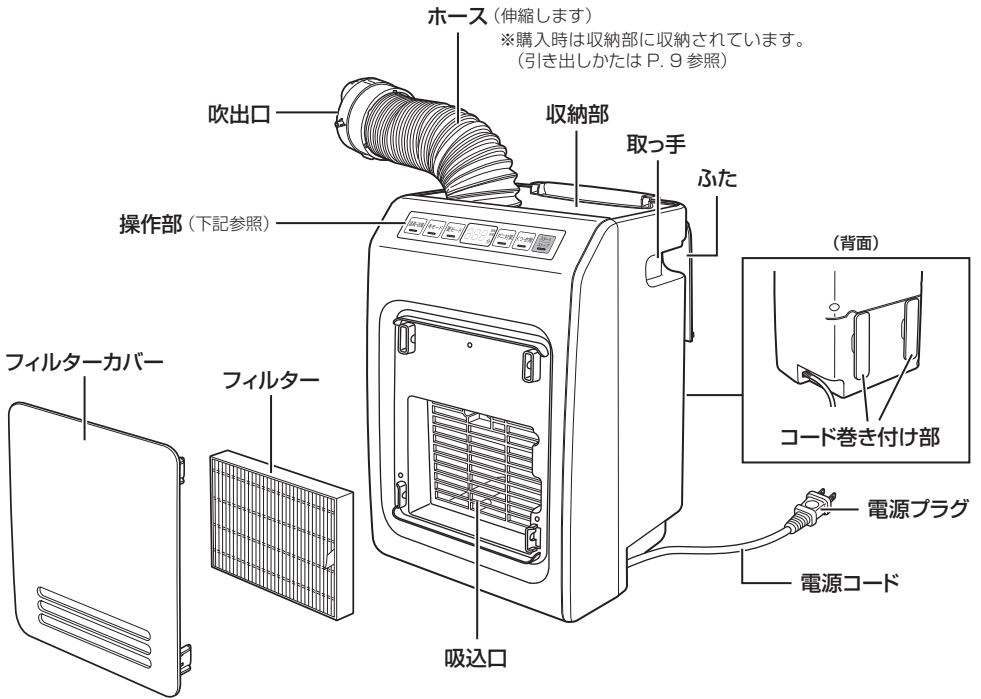
乾燥・ダニ対策について

- 室内温度が20℃未満のときや風が届きにくいふとんの隅などは、温度が上がりにくいため、乾燥やダニ対策が十分にできない場合があります。

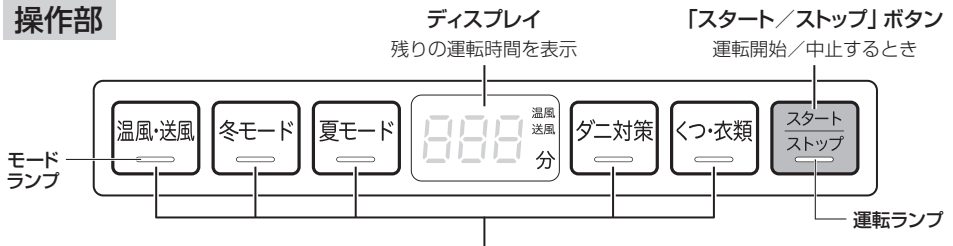
- ダニの種類により、ダニ対策できないことがあります。

各部のなまえ

本体



操作部



モード選択ボタン (P. 10 参照)

「温風・送風」ボタン*

温風：ふとんをあたためたいとき
送風：ふとんの熱気を取りたいとき

*2秒以上長押しして、
温風モード/送風モード切換え

「冬モード」ボタン

寒い季節にふとんやまくらを
乾燥したいとき

「夏モード」ボタン

暑い季節にふとんやまくらを
乾燥したいとき

「ダニ対策」ボタン

ふとんやまくらの
ダニ対策をしたいとき

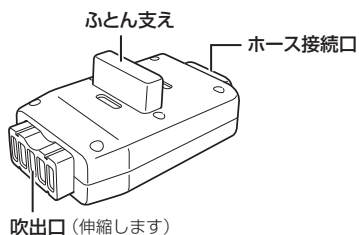
「くつ・衣類」ボタン

くつや衣類を乾燥したいとき

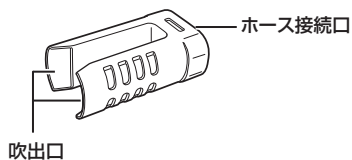
各部のなまえ

付属品

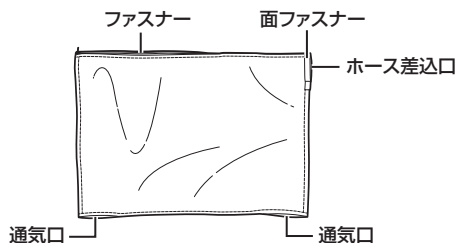
- ふとん乾燥アタッチメント※



- くつ乾燥アタッチメント※



- まくら乾燥ふくろ※



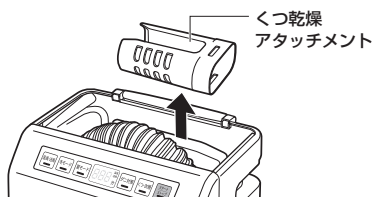
- 取扱説明書(本書：保証書付)



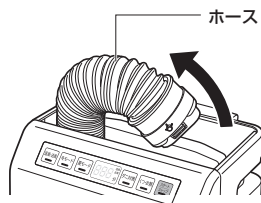
※購入時は収納部に収納されています。(取り出しかたは下記参照)

収納部からの取り出しかた

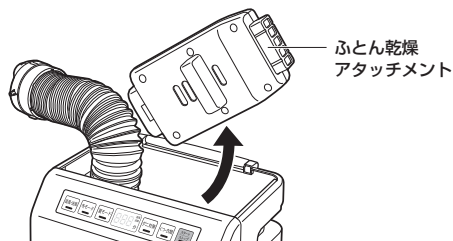
- ①くつ乾燥アタッチメントを取り出す。



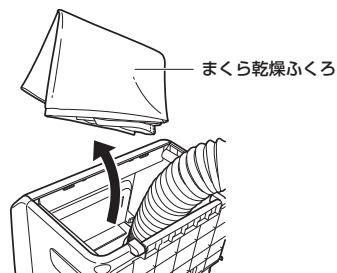
- ②ホースを引き出す。



- ③ふとん乾燥アタッチメントを取り出す。



- ④まくら乾燥ふくろを取り出す。



モードについて

モードごとに運転時間が設定されています。用途に合わせて使い分けてください。

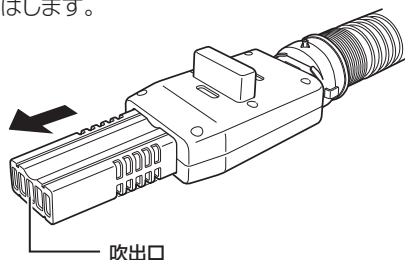
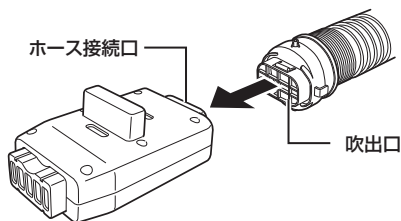
- モード選択ボタンを繰り返し押すことで、運転時間を選択できます。(ダニ対策モードは [90分] のみです。)

<p>温風モード</p>	<p>ふとんをあたためたいとき</p> <p>温風：約5分 (足元のあたために) → 温風：約10分 (かるめ) → 温風：約15分 (標準) → 温風：約20分 (しっかり)</p>
<p>送風モード</p> <p>※2秒以上長押し</p>	<p>乾燥したふとんやまぐらの熱気をとりたいとき (送風運転)</p> <p>送風：約5分 → 送風：約10分 → 送風：約15分 → 送風：約20分</p>
<p>冬モード</p>	<p>寒い季節にふとんやまぐらを乾燥したいとき</p> <p>温風：約20分 (ベビー・キッズのふとんやまぐらに) → 温風：約40分 (かるめ) → 温風：約60分 (標準) → 温風：約80分 (しっかり)</p>
<p>夏モード</p>	<p>暑い季節にふとんやまぐらを乾燥したいとき</p> <p>温風運転の後、自動的に送風運転に切り換わり、ふとんやまぐらの熱気を取り除きます。</p> <p>温風：約20分 → 送風：約20分 (ベビー・キッズのふとんやまぐらに) → 温風：約40分 → 送風：約20分 (かるめ) → 温風：約60分 → 送風：約20分 (標準) → 温風：約80分 → 送風：約20分 (しっかり)</p> <p>※送風運転に切り換わりると電子音がピッピッと鳴り、ディスプレイの [温風] が消灯して [送風] が点灯します。</p>
<p>ダニ対策モード</p>	<p>ふとんやまぐらのダニ対策をしたいとき</p> <p>温風：約90分</p>
<p>くつ・衣類モード</p>	<p>衣類やくつを乾燥したいとき</p> <p>温風：約60分 (衣類やくつが湿っているとき) → 温風：約90分 (衣類やくつが湿っているとき) → 温風：約120分 (洗濯した衣類や丸洗したくつに) → 温風：約150分 (洗濯した衣類や丸洗したくつに)</p>

ふとんを乾燥する／あたためる

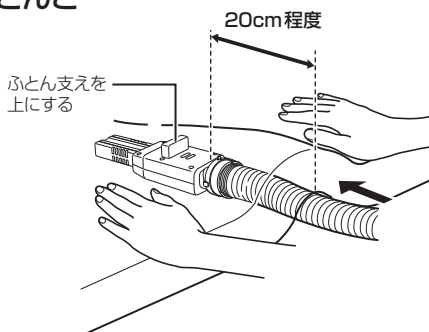
1 ふとん乾燥アタッチメントを取り付けます。

- ①ホース先端の吹出口をふとん乾燥アタッチメントのホース接続口にはめ込みます。
- ②ふとん乾燥アタッチメントの吹出口を伸ばします。



2 ふとん乾燥アタッチメントを、掛けふとんと敷ふとんの間に差し込みます。

- 本体の設置のしかたをお守りください。(P. 6 参照)
- ふとん乾燥アタッチメントとホースを、ふとんの端から20cm程度奥に入れてください。
- 軽く押さえ、ふとんの隙間をふさいでください。



⚠ 警告

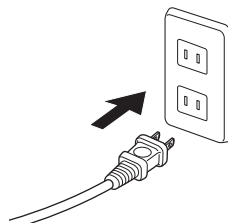
- 吸込口・吹出口をふさがない。
- 本体をふとんの中に入れて使用しない。過熱して火災の原因となります。

3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ディスプレイが点灯します。 

⚠ 警告

- 電源コードを束ねて使用したり、コード巻き付け部に巻き付けたまま使用しない。発熱による火災の原因となります。



4 乾燥したいときは、 「冬モード」ボタンまたは「夏モード」ボタンを 押します。



あたためたいときは、
「温風・送風」ボタンを押します。

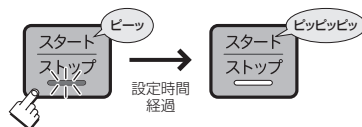


※熱気をとりたいたときは2秒以上長押しして
送風モードに切り換えます。

- 選択したボタンのモードランプが点灯し、運転ランプが点滅します。
- 押すたびに運転時間が切り換わります。(P. 10 参照)

5 「スタート／ストップ」ボタンを押します。

- 運転ランプが点灯し、運転を開始します。
- ディスプレイに残りの運転時間が表示されます。
- 設定した時間が経過すると、電子音がビップビップと鳴り、モードランプ・運転ランプが消灯し、自動的に運転を停止します。



温風運転停止後、ヒーターが冷める
まで自動的に送風運転を行います。
送風運転が終了するまで、操作ボタ
ンを押しても反応しません。

警告

使用中や使用後しばらくは、アタッチメント・ホース・
吹出口などの高温部に触れたり、ふとんの中に入らない。
やけどの原因となります。

- ふとんの隅々まで風が行き渡らないときや乾燥が不十分に感じられるときは、アタッチメントの挿入位置を変え、再度運転してください。

途中で運転を中止したいとき

「スタート／ストップ」ボタンを押します。

- モードランプ・運転ランプが消灯し、運転を停止します。



使用後は

- ① 風が出ていないことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 十分に冷めてから、アタッチメント・まくら乾燥ふくろ・ホースを本体に収納し、電源コードをコード巻き付け部に巻き付けます。(P. 25 参照)

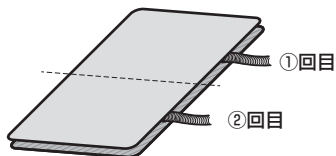
ふとんのダニ対策をする

●1回90分の運転で、ふとんの片面半分のダニ対策をします。

掛けふとん・敷ふとん1組のダニ対策に必要な時間は4回×90分で360分(6時間)です。

ダニ対策する面

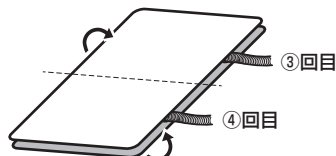
- 掛けふとん：裏面
- 敷ふとん：表面



裏返して*

ダニ対策する面

- 掛けふとん：表面
- 敷ふとん：裏面



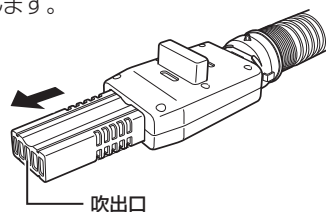
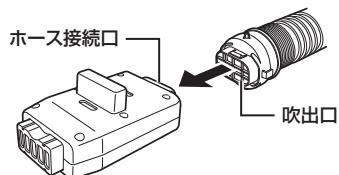
*掛けふとんの表面と敷ふとんの裏面を内側にする

1

ふとん乾燥アタッチメントを取り付けます。

①ホース先端の吹出口をふとん乾燥アタッチメントのホース接続口にはめ込みます。

②ふとん乾燥アタッチメントの吹出口を伸ばします。



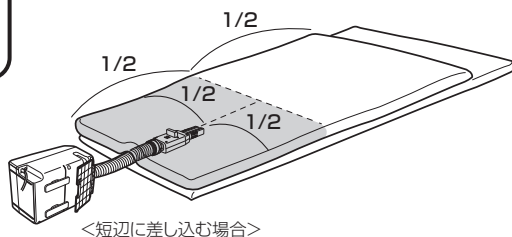
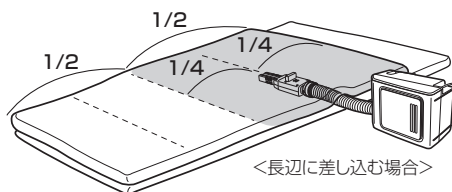
2

ふとん乾燥アタッチメントを、掛けふとんと敷ふとんの間に差し込みます。

- 本体の設置のしかたをお守りください。(P. 6 参照)
- ふとん乾燥アタッチメントとホースを、ふとんの端から20cm程度奥に入れてください。
- 軽く押さえ、ふとんの隙間をふさいでください。

警告

- 吸込口・吹出口をふさがない。
- 本体をふとんの中に入れて使用しない。過熱して火災の原因となります。

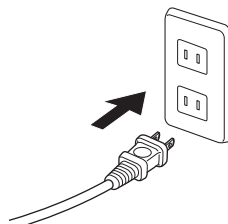


3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ディスプレイが点灯します。 

⚠ 警告

電源コードを束ねて使用したり、コード巻き付け部に巻き付けたまま使用しない。
発熱による火災の原因となります。



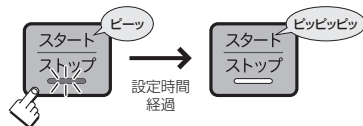
4 「ダニ対策」 ボタンを押します。

- 「ダニ対策」ボタンのモードランプが点灯し、運転ランプが点滅します。
(P. 10 参照)



5 「スタート/ストップ」 ボタンを押します。

- 運転ランプが点灯し、運転を開始します。
- ディスプレイに残りの運転時間が表示されます。
- 約90分経過すると、電子音がビッビッビッと鳴り、「ダニ対策」ボタンのモードランプ・運転ランプが消灯し、自動的に運転を停止します。



温風運転停止後、ヒーターが冷めるまで自動的に送風運転を行います。

送風運転が終了するまで、操作ボタンを押しても反応しません。

⚠ 警告

使用中や使用後しばらくは、アタッチメント・ホース・吹出口などの高温部に触れたり、ふとんの中に入らない。
やけどの原因となります。

途中で運転を中止したいとき

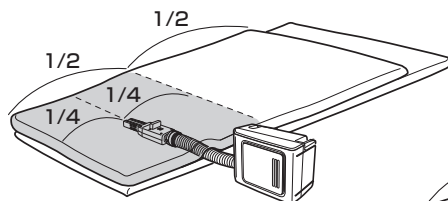
「スタート/ストップ」 ボタンを押します。

- 「ダニ対策」ボタンのモードランプ・運転ランプが消灯し、運転を停止します。

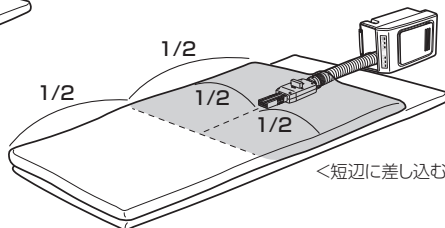


ふとんのダニ対策をする

- 6** 運転停止後、ふとん乾燥アタッチメントの位置を変え、手順4～5で、ふとんの残り半分も同様にダニ対策します。



<長辺に差し込む場合>



<短辺に差し込む場合>

- 7** 掛けふとん・敷ふとんを裏返して、手順2と同様にふとん乾燥アタッチメントを差し込み、手順4～6で同様にダニ対策します。

- 8** ふとんに掃除機をかけ、ダニの死がいやふんを取り除きます。

- 掃除機のふとん用ノズルのご使用をおすすめします。

使用後は

- ① 風が出ていないことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 十分に冷めてから、アタッチメント・まくら乾燥ふくろ・ホースを本体に収納し、電源コードをコード巻き付け部に巻き付けます。(P. 25 参照)

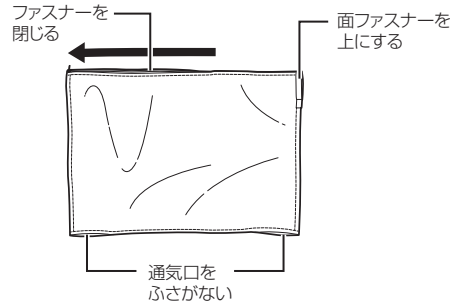
まぐらの乾燥・ダニ対策をする / 少量の衣類を乾燥する

⚠ 注意

皮革製品・漂白剤の付着した衣類・平干しや陰干しの絵表示がある衣類は乾燥しない。
縮みや変色など、衣類が傷む原因となります。

まぐら乾燥ふくろを広げ、まぐら、
または少量の衣類を並べ入れ、
ファスナーを閉じます。

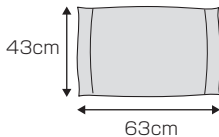
- 面ファスナーを上にして、まぐらや衣類で通気口をふさがないように並べてください。
- まぐら乾燥ふくろの下に熱がこもりますので、フローリング・タイル上では広げないでください。
- まぐらのダニ対策をするときは、敷ふとんの上で行ってください。



【まぐらの乾燥・ダニ対策の場合】

乾燥できるまぐらの目安

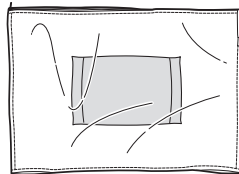
- シングルサイズの場合：2つ※



※シングルサイズ以上の大きさの場合は1つ

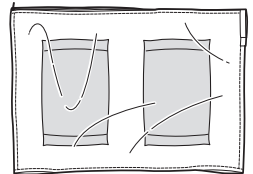
<1つ入れる場合>

- まぐら乾燥ふくろの中央付近に入れてください。



<2つ入れる場合>

- 重ならないように、均等に並べてください。



【衣類の乾燥の場合】

乾燥できる衣類の目安

- 下記のセット※

くつ下 (2足) ハンカチ (2枚)

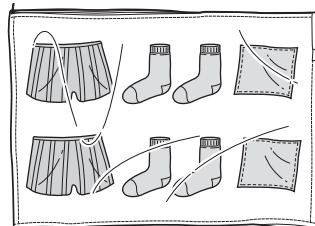


トランクス (2枚)



※脱水機で十分脱水したもの

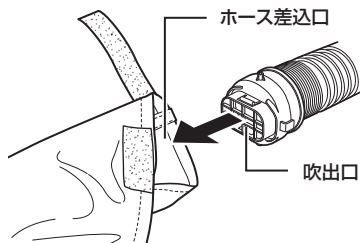
- 重ならないように並べてください。
- 熱に弱く縮みやすい素材の衣類 (ニットや麻など) は、乾燥しないでください。



まぐらの乾燥・ダニ対策をする / 少量の衣類を乾燥する

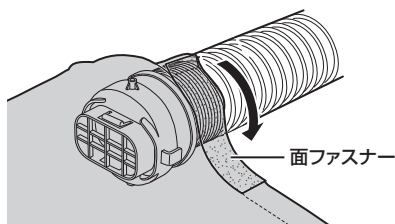
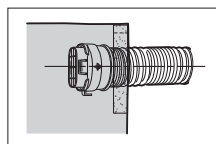
2 まぐら乾燥ふくろを取り付けます。

- ①ホース先端の吹出口をまぐら乾燥ふくろのホース差込口に差し込みます。



- ②まぐら乾燥ふくろの面ファスナーを隙間ができないようにしっかり閉じます。

- ホースの吹出口を、まぐら乾燥ふくろにまっすぐに入れてください。



- 本体の設置のしかたをお守りください。(P. 6 参照)

⚠ 警告

吸込口・吹出口をふさがない。
過熱して火災の原因となります。

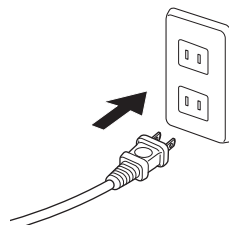
3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ディスプレイが点灯します。



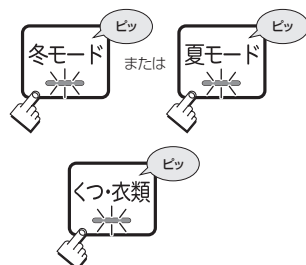
⚠ 警告

電源コードを束ねて使用したり、コード巻き付け部に巻き付けたまま使用しない。
発熱による火災の原因となります。



4 まぐらを乾燥したいときは、「冬モード」ボタンまたは「夏モード」ボタンを押します。

衣類を乾燥したいときは、「くつ・衣類」ボタンを押します。



まぐらのダニ対策をしたいときは、まぐら乾燥ふくろの上に掛けふとんを掛け、「ダニ対策」ボタンを押します。



※掛けふとんを掛けずに行くと、ダニ対策の効果は減少します。
※本体に掛けふとんを掛けないようにご注意ください。

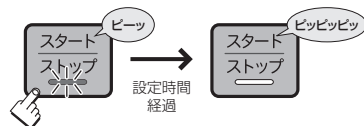
- 選択したボタンのモードランプが点灯し、運転ランプが点滅します。
- 押すたびに運転時間が切り換わります。(P. 10 参照)
※ダニ対策モードは [90分] のみです。
※洗濯物の乾燥は、[120分] または [150分] のご使用をおすすめします。

⚠ 警告

本体をふとんの中に入れて使用しない。
過熱して火災の原因となります。

5 「スタート/ストップ」ボタンを押します。

- 運転ランプが点灯し、運転を開始します。
- ディスプレイに残りの運転時間が表示されます。
- 設定した時間が経過すると、電子音がビップビップと鳴り、モードランプ・運転ランプが消灯し、自動的に運転を停止します。



温風運転停止後、ヒーターが冷めるまで自動的に送風運転を行います。
送風運転が終了するまで、操作ボタンを押しても反応しません。

⚠ 警告

使用中や使用後しばらくは、まぐら乾燥ふくろ・ホース・吹出口などの高温部に触れない。
やけどの原因となります。

【衣類の乾燥の場合】

- 湿気が残っているときは、再度運転してください。

【まぐらのダニ対策の場合】

- ① まぐらを裏返して、ダニ対策モードでもう一度運転します。
- ② まぐらに掃除機をかけ、ダニの死がいやふんを取り除きます。
 - 掃除機のふとん用ノズルのご使用をおすすめします。

途中で運転を中止したいとき

「スタート/ストップ」ボタンを押します。

- モードランプ・運転ランプが消灯し、運転を停止します。

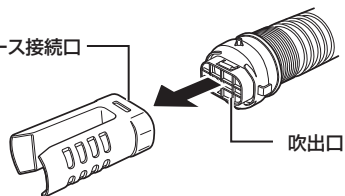


使用後は

- ① 風が出ていないことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 十分に冷めてから、アタッチメント・まぐら乾燥ふくろ・ホースを本体に収納し、電源コードをコード巻き付け部に巻き付けます。(P. 25 参照)

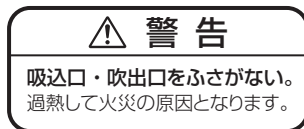
くつを乾燥する

- 1 くつ乾燥アタッチメントを取り付けます。ホース接続口
- ホース先端の吹出口をくつ乾燥アタッチメントのホース接続口にはめ込みます。

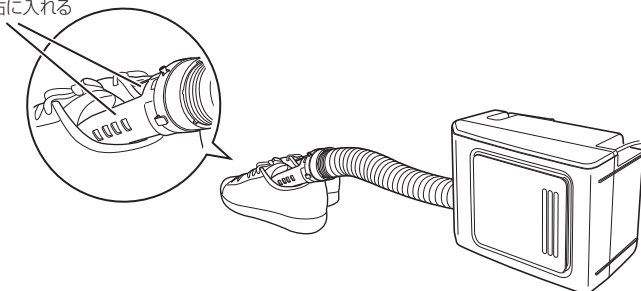


- 2 くつ乾燥アタッチメントを、くつに差し込みます。

- 本体の設置のしかたをお守りください。(P. 6 参照)
- くつ乾燥アタッチメントの吹出口を、左右のくつに入れてください。
- 濡れたくつは、あらかじめ布で水気を取ってください。



左右に入れる



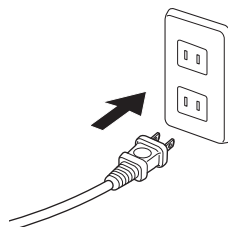
- 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ディスプレイが点灯します。



警告

電源コードを束ねて使用したり、コード巻き付け部に巻き付けたまま使用しない。
発熱による火災の原因となります。



- 4 「くつ・衣類」ボタンを押します。

- 「くつ・衣類」ボタンのモードランプが点灯し、運転ランプが点滅します。
- 押すたびに運転時間が切り換わります。(P. 10 参照)

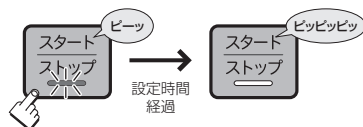


注意

革・合成皮革・ビニール製のくつは、乾燥しない。
変形・変質の原因となります。

5 「スタート/ストップ」ボタンを押します。

- 運転ランプが点灯し、運転を開始します。
- ディスプレイに残りの運転時間が表示されます。
- 設定した時間が経過すると、電子音がピッピッピッと鳴り、「くつ・衣類」ボタンのモードランプ・運転ランプが消灯し、自動的に運転を停止します。



温風運転停止後、ヒーターが冷めるまで自動的に送風運転を行います。

送風運転が終了するまで、操作ボタンを押しても反応しません。

警告

使用中や使用後しばらくは、アタッチメント・ホース・吹出口などの高温部に触れたり、くつを履かない。やけどの原因となります。

- くつの湿り気が残っているときは、再度運転してください。

途中で運転を中止したいとき

「スタート/ストップ」ボタンを押します。

- 「くつ・衣類」ボタンのモードランプ・運転ランプが消灯し、運転を停止します。



使用後は

- ① 風が出ていないことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 十分に冷めてから、アタッチメント・まくら乾燥ふくろ・ホースを本体に収納し、電源コードをコード巻き付け部に巻き付けます。(P. 25 参照)

吊るした衣類の乾燥補助をする

乾燥できる衣類の目安

- Yシャツ (2枚)※



※脱水機で十分脱水したもの

⚠ 警告

下記の衣類は絶対に乾燥しない。

- ・食用油・機械油・シンナー・ガソリン・ドライクリーニング油が付着した衣類
 - ・水滴が落ちるような洗濯物
- 火災・感電・故障の原因となります。

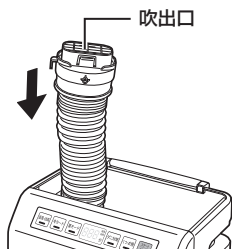
⚠ 注意

皮革製品・漂白剤の付着した衣類・平干しや陰干しの絵表示がある衣類は乾燥しない。

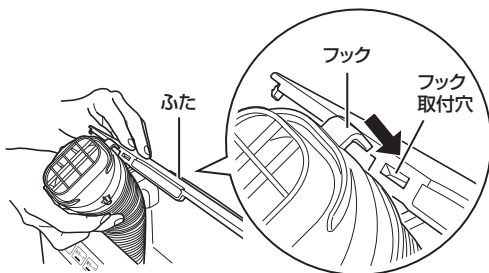
縮みや変色など、衣類が傷む原因となります。

1 ホースを縮めます。

ホースの吹出口を上に向け、
下方向に押し込めなくなるまで
押し、最短の長さに縮めます。

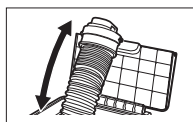


2 ホースの吹出口のフックを ふたのフック取付穴に引っ掛けます。

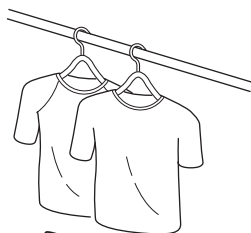


3 乾燥したい衣類にホースの吹出口を向けます。

- 吹出口の角度は、ホースを伸縮して調節してください。



- 本体は「縦置き」でご使用ください。(P. 6 参照)



⚠ 警告

- 水滴が落ちるような洗濯物の真下に本体を置かない。

火災・感電・故障の原因となります。

- 衣類をしっかりと固定する。

衣類が本体の上に落下すると、事故・故障の原因となります。

- 吸込口・吹出口をふさがない。

過熱して火災の原因となります。

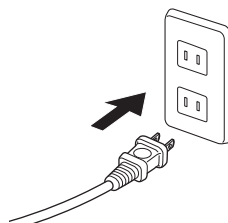


4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ディスプレイが点灯します。 

⚠ 警告

電源コードを束ねて使用したり、コード巻き付け部に巻き付けたまま使用しない。
発熱による火災の原因となります。



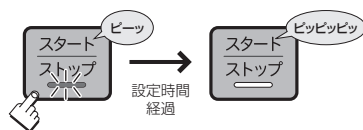
5 「くつ・衣類」 ボタンを押します。

- 「くつ・衣類」 ボタンのモードランプが点灯し、運転ランプが点滅します。
- 押すたびに運転時間が切り換わります。(P. 10 参照)
※洗濯物の乾燥は、[120分] または [150分] のご使用をおすすめします。



6 「スタート/ストップ」 ボタンを押します。

- 運転ランプが点灯し、運転を開始します。
- ディスプレイに残りの運転時間が表示されます。
- 設定した時間が経過すると、電子音がビップビップと鳴り、「くつ・衣類」 ボタンのモードランプ・運転ランプが消灯し、自動的に運転を停止します。



温風運転停止後、ヒーターが冷めるまで自動的に送風運転を行います。
送風運転が終了するまで、操作ボタンを押しても反応しません。

⚠ 警告

使用中や使用後しばらくは、ホース・吹出口などの高温部に触れない。
やけどの原因となります。

- 衣類の湿り気が残っているときは、位置を変えるなどして再度運転してください。

途中で運転を中止したいとき

「スタート/ストップ」 ボタンを押します。

- 「くつ・衣類」 ボタンのモードランプ・運転ランプが消灯し、運転を停止します。



使用後は

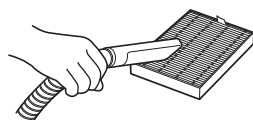
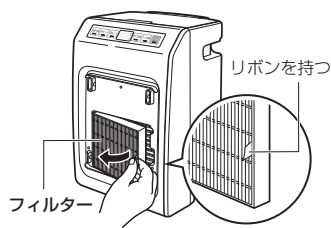
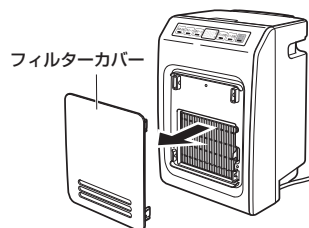
- ① 風が出ていないことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 十分に冷めてから、アタッチメント・まくら乾燥ふくろ・ホースを本体に収納し、電源コードをコード巻き付け部に巻き付けます。(P. 25 参照)

お手入れのしかた

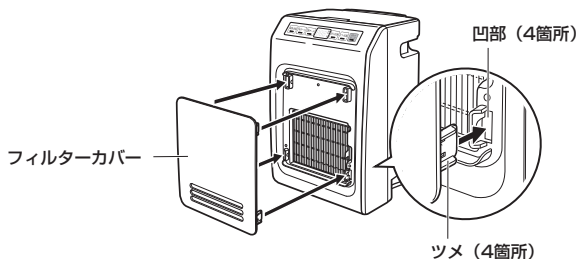
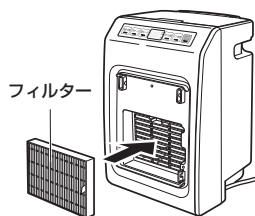
※お手入れは運転停止後、風が出ていないことを確認して、電源プラグをコンセントから抜き、必ず本体やタッチメントなどが冷めてから行ってください。

フィルター・フィルターカバー 1か月に1回程度(目安)

- 1 フィルターカバーを本体から取り外します。 2 フィルターを取り外します。 3 フィルターやフィルターカバーについてごみやほこりなどを掃除機で吸い取ります。



- 4 フィルターを取り付けます。 5 フィルターカバーのツメと本体の凹部に合わせて、フィルターカバーを本体に取り付けます。



⚠ 注意

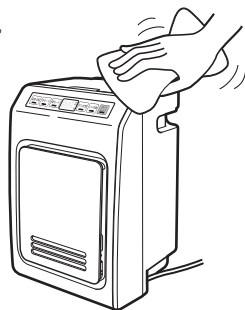
- フィルターは定期的に(1か月に1回程度)お手入れをする。
フィルターがごみやほこりなどで目詰まりすると、故障や性能低下の原因となります。
- フィルター・フィルターカバーを取り外したまま使用しない。
本体にごみやほこりなどを吸い込み、故障して発火や過熱の原因となります。
- フィルターを水洗いしたり、水に濡らさない。また、折り曲げたり、強い力で押さえたりしない。
破損・雑菌繁殖・性能低下の原因となります。

本体・アタッチメント

薄めた台所用洗剤（中性）にやわらかい布などを浸してしぼり、汚れを拭き取ります。そのあと、洗剤が残らないように、乾いた布でもう一度拭き取ってください。

⚠ 注意

- 操作部、本体内部の電気部品には絶対に水をかけない。感電や故障の原因となります。
- シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しない。本体を傷めます。また変色、変形の原因となります。



まくら乾燥ふくろ 半年に1回程度（目安）

- 1 中性洗剤の入ったぬるま湯で軽く押し洗いします。
※洗濯機を使用する場合は、家庭用洗濯機の「弱」コースなど弱い水流で洗ってください。
- 2 洗った後はよくすすぎ、静電気防止のためソフト洗剤仕上げをし、日陰で吊り干しします。
※タンブル乾燥機やアイロンは使用しないでください。



●液温40°Cを限度とし、洗濯機で弱く洗う



●漂白剤は使わない



●日陰で吊り干しする



●アイロンはかけない



●タンブル乾燥しない



●ドライクリーニングしない

保管のしかた

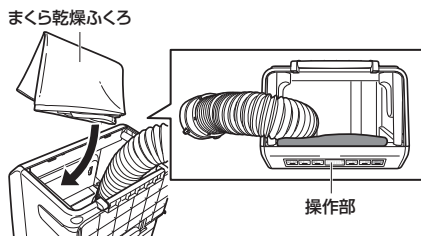
使用後は、直射日光の当たらない湿気の少ないところに保管してください。

- ①お手入れしたあと、よく乾燥させます。
- ②アタッチメント・まくら乾燥ふくろ・ホースを収納し、電源コードをコード巻き付け部に巻き付けます。(下記参照)
- ③本体をポリ袋などで包んで元の梱包ケースなどに入れます。

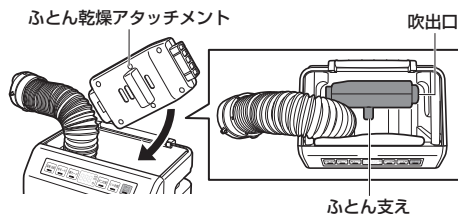
収納部への収納のしかた

1 まくら乾燥ふくろをたたみ、収納します。

- 収納部の前面（操作部の下）に入れます。

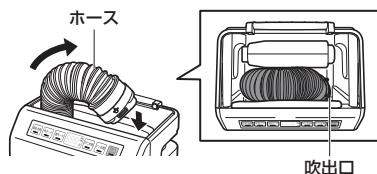


2 ふとん乾燥アタッチメントを下図のように収納します。

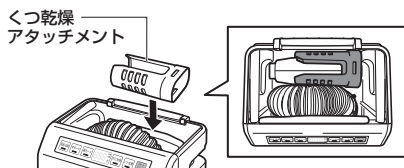


3 ホースを収納します。

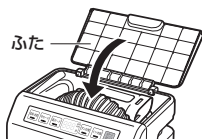
- ホースを縮め、吹出口を収納部の底に向けるようにホースを曲げ、押し入れます。



4 くつ乾燥アタッチメントをふとん乾燥アタッチメントの上に収納します。



5 ふたを閉じます。

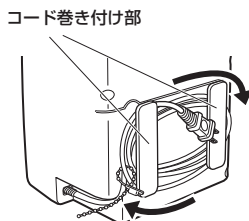


電源コードの巻き付けかた

本体背面のコード巻き付け部に時計回りに巻き付けてください。

⚠ 警告

- 電源コードを本体のコード巻き付け部以外に巻き付けない。
 - 電源コードを巻き付けたまま使用しない。
- 火災・感電の原因となります。



故障かな?と思われたときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。それでも異常のある場合は、商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

このようなとき	点 検	処置のしかた
運転しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●運転ランプが点滅していませんか？	「スタート/ストップ」ボタンを押して運転を開始してください。
	●本体を正しい向きで設置しましたか？ (ディスプレイに [E01] が点灯)	安全装置が働いていることが考えられます。 (P. 7参照) ①正しい向きに置き直してください。 (P. 6参照) ②「スタート/ストップ」ボタンを押してエラーを解除※してください。
	●ディスプレイに [H01] が点灯していませんか？	本体の故障です。 電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。
運転が途中で停止した	●吸込口や吹出口がふさがっていませんか？ (ディスプレイに [C01] が点灯)	安全装置が働いていることが考えられます。 (P. 7参照) ①高温部が十分に冷めてから、吸込口や吹出口をふさいでいる原因を取り除いてください。 ②「スタート/ストップ」ボタンを押してエラーを解除※してください。
	●フィルターやフィルターカバーがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？ (ディスプレイに [C01] が点灯)	安全装置が働いていることが考えられます。 (P. 7参照) ①送風運転停止後、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ②高温部が十分に冷めてから、フィルターやフィルターカバーのお手入れをしてください。 (P. 23参照)
	●本体が転倒していませんか？ (ディスプレイに [E01] が点灯)	安全装置が働いていることが考えられます。 (P. 7参照) ①正しい向きに置き直してください。 (P. 6参照) ②「スタート/ストップ」ボタンを押してエラーを解除※してください。
運転を停止しても風が止まらない	●温風運転停止直後ではありませんか？	温風運転停止後、ヒーターが冷めるまで自動的に送風運転を行います。故障ではありません。
風の吹き出しが弱い	●フィルターやフィルターカバーがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？	①運転を停止し、風が出ていないことを確認してから電源プラグをコンセントから抜いてください。 ②高温部が十分に冷めてから、フィルターやフィルターカバーのお手入れをしてください。 (P. 23参照)
温風が出ていない	●「夏モード」を使用していませんか？	温風運転後、ふとんの熱気を取り除くため、自動的に送風運転に切り換わります。故障ではありません。

※エラーが解除されると、ディスプレイに [0分] が点灯します。

故障かな?と思われたときは

このようなとき	点 検	処置のしかた
乾燥しない あたたまらない	●ふとん乾燥アタッチメント・まくら乾燥ふくろ・くつ乾燥アタッチメントが正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。 (ふとん乾燥アタッチメント：P. 11、P. 13 参照) (まくら乾燥ふくろ：P. 16～P. 17 参照) (くつ乾燥アタッチメント：P. 19 参照)
	●ふとんの上に物を置いていませんか？	置いているものを取り除いてください。
	●まくら乾燥ふくろに、まくら・衣類を入れすぎていませんか？	乾燥できる容量の目安をご確認ください。 (P. 16 参照)
	●吹出口から出る風が衣類にあたっていますか？	吹出口の角度を調節してください。(P. 21 参照)
	●吊るしている衣類が多すぎませんか？	乾燥できる容量の目安をご確認ください。 (P. 21 参照)
	●乾燥するものの素材・大きさ・室内温度・湿度により、乾燥やあたたために時間がかかる場合があります。	

こんな表示が出たときは

安全装置が働いたときや異常があった場合、ディスプレイがエラー表示になります。
次のことをお調べください。

ディスプレイ	点 検	処置のしかた
001	●吸込口や吹出口がふさがっていますか？	①高温部が十分に冷めてから、吸込口や吹出口をふさいでいる原因を取り除いてください。 ②「スタート/ストップ」ボタンを押してエラーを解除※してください。
	●フィルターやフィルターカバーがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？	①送風運転停止後、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ②高温部が十分に冷めてから、フィルターやフィルターカバーのお手入れをしてください。 (P. 23 参照)
E01	●本体を正しい向きで設置しましたか？	①正しい向きに置き直してください。 (P. 6 参照)
	●本体が転倒していませんか？	②「スタート/ストップ」ボタンを押してエラーを解除※してください。
H01	本体の故障です。 電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。	

※エラーが解除されると、ディスプレイに [0分] が点灯します。

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz共用
外 形 寸 法	約230(幅)×205(奥行)×325(高さ)mm
質 量	約3.0kg
電源コードの長さ	約2.0m
消 費 電 力	550W
タ イ マ ー	最長150分(マイコン式)
安 全 装 置	温度ヒューズ、電流ヒューズ、サーモスタット、転倒時運転停止装置、 温度過昇防止用サーミスタ
付 属 品	ふとん乾燥アタッチメント、くつ乾燥アタッチメント、まくら乾燥ふくろ、 取扱説明書(本書:保証書付)

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

消耗部品について

消耗部品を依頼される場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名 称	品 番
フィルター	KBD-F001
まくら乾燥ふくろ	KBD-F002

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 布団乾燥機の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の布団乾燥機の点検を！



このような
症状は
ありませんか

- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 電源プラグ・電源コード・本体が異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、「無料修理」**致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

布団乾燥機

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	KBD-0550		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理保証期間	対象部分 本体		期間（お買い上げ日より） 1年
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 TEL	
販売店	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪府中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口 

■IP電話などからご利用いただけない場合
〒541-0051 大阪府中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター 

■IP電話などからご利用いただけない場合
〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048(718)3340 FAX.048(718)3350

西日本修理センター 

■IP電話などからご利用いただけない場合
〒559-0033 大阪府住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3145 FAX.06(6613)3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター 

■IP電話などからご利用いただけない場合
〒559-0033 大阪府住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3211 FAX.06(6613)3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪府中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

受付時間：平日9:00~17:30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2019年7月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)